

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	ふるさとアート工房事業	事業コード	375
-----------	-------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	1990	終了年度	2019
	目的	一流の芸術家との触れ合いを通じて豊かな感性を育み、作品を作る楽しさ、面白さを体感し芸術文化への理解を深める。また、作品制作の題材として、市内の伝統芸能、祭りなど文化的要素を活用することにより、鯖江の文化の素晴らしさを改めて再認識する。				
	概要	洋画家西山松生先生の指導による絵画教室で、市内の各地区の祭りを題材に「西山松生絵楽塾」を開催。また、平成27年度より国内外で活躍する本市ゆかりの芸術家が各地区の学校等を巡回指導し、ふるさとのすばらしさや絵を描く楽しさを子どもたちに体感してもらう「アーツクルーズ」をふるさと学習の一環として同時期に開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、郷土出身の芸術家に講師を依頼して、無料で絵画教室を開催している。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	開催回数		回	目標値	2	2	2	2	
				実績値	2	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	参加者数		人	目標値	80	80	80	80	
				実績値	77	126	87		
	計算根拠			達成率(%)	96.3	157.5	108.8		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	382	501	323	406				
	決算額	382	501	273					

令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の間に広く参加者を募るために、無料で地元出身者の著名な絵画教室を実施するに は、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	講師の報償費や旅費、宿泊費等事業の実施に欠かせない経費である。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	受講者から参加料を徴収することは可能である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	絵画塾の作品は、まなべの館等で展示したり、市美術展への出品を促し発表も場を設け ていく。会場については、地域的なバランスに配慮し、市内の地域文化を広く市民に 知っていただけるように努めていく。また、アーツクルーズでは、市内の各学校を巡回 し、多くの子どもたちに芸術文化、ふるさとの素晴らしさを知ってもらえるように努め ていく。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="事務改善"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="廃止・休止"/>
	令和元年度取組み	郷土出身で県内外で活躍する芸術家を招き、ふるさと学習の一環として市内の学校を訪問し、子どもたちが自由に芸術文化を体験できる「アーツクルーズ」を開催。H30年度より、若手現代美術作家も加わりより充実した内容で行っているが、市内の児童生徒が就学期間中に一度は体験できるよう、実施のあり方を改善し、回数を増やして実施する。	令和2年度計画	R1年度は市内の児童生徒が就学期間中に一度は体験できるよう、回数を増やして実施した。しかしながら10年以上経過した事業であり、一時休止し、現在の教育体制に適した充実した内容に再考する。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	事業コード	583
-----------	---------------	-------	-----

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。観月の夕べ、県文協選抜芸能祭・美術展、市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	構成団体の数		団体	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	35	35	35		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	構成団体の構成員数		人	目標値	350	350	350	350	350
				実績値	350	350	335		
	計算根拠	文化協議会からの聞き取り		達成率(%)	100	100	95.7		
				実数値					
		ランク		A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等		事業要員	※所要時間	16			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150			
	決算額	2,150	2,150	2,150					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	心のゆとりややすらぎを求める風潮から、市民の市民主体の文化芸術活動に対するニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民が主体となった文化振興の中心的団体である文化協議会への助成は、行政が行うべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、補助団体が事業を縮小しない限り困難である。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市が交付する補助金であるので、今以上に財源を確保する方法はない。	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、所管課の指導は必要であるが、補助金を増額しても、基本的には、文化協議会自体の事業であり、成果の向上についても、協議会で考えることである。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	昨年同様、鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。総合展と美術協会展は、会期が近いので統合できないかを引き続き検討していく。	令和2年度計画	昨年に引き続き、市民主体の文化振興事業を実施してもらうため、鯖江市文化協議会に補助金を交付する。文協総合展と美術協会展は、会期が近いので統合できないかを引き続き検討していきたい。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	事業コード	606
-----------	--------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	2022
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収の実施、整備計画の策定、各種設計書の作成、関連工事の実施をとおして古墳公園化を目指す。				
	法令根拠	文化財保護法				
実施形態	現在	市直営				
	内容	国庫補助事業として市が整備計画事業を推進し、古墳公園化を目指す。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	事業進捗率		%	目標値	10	13	16	20	50
				実績値	10	13	16		
	計算根拠		公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計・一部工事着工、令和2年度・令和3年度に施工し、完成の予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難なため、全体の		達成率(%)	100	100	100	
				実数値	10/100	13/100	16/100		
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.25			
	事業タイプ	補助(国)事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	普通建設事業費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	29,070	7,053	7,200	18,810	61,552	国宝重要文化財等保存整備費補助金(国庫補助)		
	決算額	29,070	7,053	6,822			国指定文化財保存修理等補助事業補		

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	兜山古墳は、北陸地方最大級の円墳であり、国指定文化財でもあるので、その整備・保存・活用については、地元のみならず、十分に市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	国庫補助事業として実施するため、事業は行政が実施しなければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	整備内容を見直すことにより、コストを削減することは可能である。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国や県の補助金を活用しており、今以上に財源を確保する方法はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	早急に、地元と公有化の協議を整える必要がある。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="内容拡大"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="内容拡大"/>
	令和元年度取組み	<p>昨年度より内容拡大。 令和元年度は「実施設計書」作成を委託し、本工事前の準備工事にも着手することから、予算を増額して古墳整備事業にあたる。</p> <p>委託内容：実施設計書作成委託 工事内容：樹木伐採工</p>	令和2年度計画	<p>内容拡大。</p> <p>令和2年度は整備工事に本格着手するため、予算を増額して事業にあたる。</p> <p>委託内容：工事監理業務 工事内容：施設撤去工・敷地造成工・樹木整姿工ほか</p>

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	やんしき保存協会活動費補助金	事業コード	1945
-----------	----------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	普及活動回数		回	目標値	20	40	40	40	40
				実績値	45	44	45		
	計算根拠			達成率(%)	225	110	112.5		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	300	300	300	300	300			
	決算額	300	300	300					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	鯖江の伝統芸能として、まつりに多く参加し普及活動を行っており、市民の踊り手が増加している。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	やんしきは鯖江の伝統芸能であり、保存・継承のための活動を行っている当協会を補助するのは妥当である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	やんしき踊りは市の無形文化財に指定されたものであり、この普及・後継者育成活動は継続すべきである。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
事業名					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	活動回数が増加状況であるため、削減はむずかしい。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市の単独事業なので、これ以上は望めない。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	普及活動を積極的に行い、やんしきの担い手を増加させることができる。

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	昨年度同様の形態で実施する。 昨年度の会の活動状況および今年度の事業計画から判断して今年度の取組みは例年並みと判断されるため、次年度も引き続き同様の形態で実施したい。	令和2年度計画	昨年度と同様の形態で実施。 平成30年度の会の活動状況および令和元年度の事業計画から判断して今年度の取組みは例年並みと判断されるため、次年度も引き続き同様の形態で実施したい。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	まなべDEわくわく !! アートフェスタ	事業コード	2078
-----------	----------------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
325				

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をとおして、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館「まなべの館」として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	体験教室の回数		日	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	参加人数		人	目標値	370	370	370	370	370
				実績値	368	400	400		
	計算 根拠			達成率 (%)	99.5	108.1	108.1		
				実数値					
		ランク		A	A	A			
タイ プ	会計	一般会計		事業 要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業 要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業 要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業 費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	703	709	650	650	669			
	決算額	460	709	545					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	子どものころから文化芸術等に触れる機会を設けることにより、市の伝統文化、芸能、産業、歴史を継承していく人材を育成していかなければならないという機運は十分に ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市の伝統文化等の継承のために、子どもたちを対象に芸術文化を総合的に体験できる事 業を開催し文化振興の面からも行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	最小限のコストで実施している。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	参加料を徴収することは可能であるが、子どもたちに気軽に芸術文化に接してもらうた めに、無料（材料費のみ一部負担）で開催することとする。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	毎年、体験内容を検討し、保護者や子ども達のニーズにあった企画を立案する。また、 学校との連携を図る。		

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み 昨年同様の形態で実施。 今までの反省点を踏まえて、より多くの子どもたちが体 験できるようカリキュラム等の見直しを検討して実施する。	令和2年度計画 R1年度と同様の形態で実施。 近年、抽選になるほど参加希望者が多くなっているた め、より多くの子どもたちが参加できるようカリキュラ ムや運営体制の見直しを検討していく。

【提案型市民主役事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>					
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	事業コード	2080
-----------	---------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	244
		若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	建造物をはじめとする文化財を舞台・素材としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財（建造物等の有形文化財等）の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財所有者の了承のもと文化財等を公開し市民が直接目に触れる機会を提供する。提案型市民役事業。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（全部）			
	内容	提案型市民役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。				

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		

DO (実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	観客者（参加者）数	人	目標値	200	150	200	200	200
			実績値	200	188	209		
	計算根拠	達成率（%）	100	125.3	104.5			
実数値								
	ランク	A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称
	予算額	1,195	1,180	1,080	1,080	1,100	
	決算額	1,195	1,180	1,080			

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	文化財に対する市民の関心は、年々高まっており、市民が文化財に直接に触れる機会の提供が必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	文化財は、まちづくりの重要な素材であり、文化財の保存のほか、まちづくりの面からも行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	多くの市民に参加してもらような企画を立案しなければならないので、出演者・音響・照明の面からもコスト削減は困難である。	
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	地域と一体となつたまちづくりの観点から、地域のまちづくり団体等に、経費の一部を負担してもらう。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	開催回数を増やしたり、著名な出演者に依頼すれば、観客数は増えると思われるが、経費の面で問題がある。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	平成30年度同様の形態で実施する。本年度も地域と連携した企画が提案され、実施する予定。このことから、昨年並みの参加者が見込まれる。	令和2年度計画	令和元年度と同様の形態で実施。 令和元年度は地域と連携した団体の企画提案のもと実施した。来年度は別団体の新しい提案が採択されたものの、事業骨子に変更はないため、昨年度並みの参加者が見込まれる。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	ふるさと鯖江検定事業	事業コード	2549
-----------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに4者択一で100問出題する検定を年1回実施する。合格者には、本市の特色を活かした技術で制作した特製の認定証を贈呈する。また、合格者については、市の文化事業の解説等に協力していただけるような方策を検討する。 大人の検定にあわせて、子どものころからふるさとの歴史に親しめるようキッズ検定を実施する(平成27年度より)。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	市直営				
	内容	市職員が問題を作成する。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	検定の実施		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	受験者数(申込者数)		人	目標値	150	150	150	150	150
				実績値	265	260	302		
	計算 根拠			達成率 (%)	176.7	173.3	201.3		
				実数値					
		ランク		A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業 要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業 要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業 要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業 費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	582	248	209	89	8			
	決算額	132	144	43					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ご当地検定ブームもあり、ふるさと鯖江について学び、その成果を試してみたいとの市民ニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	史実に沿った正確な問題を作成し、検定を通して、ふるさと鯖江の歴史や文化について正しい知識を身につけてもらう。また、その知識の活用を図るためには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。  <input type="checkbox"/> ある	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。  <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	考福学検定	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。  <input type="checkbox"/> ない	根拠	鯖江市だけに関わる問題を作成し、検定を実施する必要がある。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。  <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。  <input type="checkbox"/> ある	根拠	認定書の単価を下げる。		
		根拠	検定料を徴収する。		
		根拠	広報活動を積極的に行う。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。  <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。  <input type="checkbox"/> ある	根拠			

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 事務改善	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	出題の内容を歴史・文化に特出した問題から産業・観光等を含めた内容を再考して実施する。また、「キッズ検定」についても、より多くの市民に参加してもらうためWEBでの受験も実施する。	令和2年度計画	R1年度と同様な形態で実施。R1年度は各課から集めた幅広い問題に再考し、Web受験を導入して気軽に受験体制を整えた。R2年度は事務処理も簡単にできるよう考えていく。

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	鯖江市美術展開催事業	事業コード	2556
-----------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、禰陽会館の2会場。会期は5日間。運営にあたっては、アートスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気軽にアート展」も同時開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市民が主体となった実行委員会で実施する。				

DO (実施)	活動指標									
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	作品の応募点数		点	目標値	500	450	450	450	450	
				実績値	413	437	377			
	成果指標									
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	会場への来場者数		人	目標値	10,000	7,000	8,000	8,000	8,000	
				実績値	6,760	7,511	8,009			
	計算根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。			達成率(%)	67.6	107.3	100.1		
					実数値					
		ランク		C	A	A				
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.5				
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.1				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0				
【単位:千円】										
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称			
	予算額	2,408	2,280	2,263	2,405	2,905				
	決算額	2,079	2,110	1,949						

令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	余暇を利用して、美術作品を制作したり、その作品を出展したいとの市民ニーズは高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市全体の美術文化の向上を図ることが目的であるので、行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	県美展	
		根拠	市美展は、市民の美術の祭典であり、広く、気軽に作品を募集するので、県美展との統 合は不可能である。		
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	報償費の占める割合が高いため、コストを削減する余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	出品料の増額が考えられるが、幅広く募集すると趣旨からすると困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	将来的には会場を一つにするなど、市民のニーズにあった公募展になるよう検討する。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="事務改善"/>
	令和元年度取組み	昨年同様の形態で実施。会期を美術展等の事業が多い11月から3月に移動し、市民により親しまれる美術展を開催する。	令和2年度計画	R1年度も同様の形態で実施。 R2年度は人材育成の要望が高いことから、芸術講座・講演会開催にも力を入れ、応募者数の増を図る。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="text" value="可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	近松が生まれたまちさばえ発信事業	事業コード	3080
-----------	------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けて「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれたまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演を委託する。</li> <li>「立待月観月の夕べ」開催を委託する。</li> <li>近松入門講座を市民主役事業として委託する。</li> </ul>				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、近松の里づくり事業推進会議に委託、「近松入門講座」は市民主役事業として委託して開催する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	近松座による出前公演の回数		回	目標値	8	8	15	15	15
				実績値	15	19	17		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数、近松入門講座の参加者数		人	目標値	8,500	8,500	10,500	10,500	10,500
				実績値	10,000	10,000	10,000		
	計算根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度：近松入門講座の参加者数を追加			達成率(%)	117.6	117.6	95.2	
					実数値				
		ランク		A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.1			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	1,700	1,700	1,882	2,000	2,028			
	決算額	1,700	1,700	1,769					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ブランド力の高い近松門左衛門を情報発信して、「鯖江の近松」としてまちづくりを推進していくニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市が一体となって近松のまちづくりを推進していく必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="その他"/>		根拠	財団等の助成金を活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	限られた財団等の助成金を活用した事業実施のため困難。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	昨年と同様の形態で実施。 提案型市民主役事業「近松講座」、文楽公演委託事業、近松のまちづくり推進活動事業（近松の里づくり推進会議）開催委託を行い、近松が生まれたまち鯖江の全国発信を強化する。	令和2年度計画	R1年度と同様の形態で実施。 R2年度も提案型市民主役事業「近松講座」、文楽公演委託事業、近松のまちづくり推進活動事業（近松の里づくり推進会議）開催委託を行い、近松が生まれたまち鯖江の全国発信を強化していく。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="text" value="可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	文化財調査事業	事業コード	3082
-----------	---------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	文化財を保存保護し、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査のほかまなべの館で未整理となっている古文書等の調査を実施する。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施する。事業の一部については、高度な専門的知識と技術をもつ明治大学および京都女子大学の専門家に委託する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
内容	市職員（学芸員）および専門機関（大学）に一部を委託して直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	悉皆調査の回数		回	目標値	10	8	5	5	5
				実績値	10	8	10		
	古文書の搬入点数		点	目標値	1,800	1,000	2,000	300	300
				実績値	1,800	800	2,000		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	調査した文化財の数		件(点)	目標値	50	40	10	5	5
				実績値	50	39	10		
	計算根拠			達成率(%)	100	97.5	100		
	古文書の調査作成点数		点	目標値	1,800	1000	2,000	300	300
				実績値	1,800	800	2,000		
	計算根拠			達成率(%)	100	80	100		
			実績値						
			ランク	A	A	A			

会計	一般会計	事業タイプ	単独事業	事業要員	正規職員	0.37
経費区分	物件費			臨時・嘱託	0.87	
				※所要時間	0	

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称
	予算額	60	60	60	860	999	
	決算額	50	60	60			

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	指定文化財の候補物件の特定を行うという性格の事業であり、毎年文化財所有者からの調査依頼が複数件寄せられることから、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	悉皆調査は、学芸員および学芸員の監督を受けた専門機関が直接訪問し実施するものである。専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみであるため、行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠	将来的に保存保護が必要と判断される文化財について指定を行うことは、市の文化財保護条例に規定されているためこの事業は必要である	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ある	所管課	文化課	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 可能
			事業名	古文書調査事業 (3314)	
			根拠	文化財の調査という要素が共通。	
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	専門研究者への謝礼は実費程度であり、専門機関への委託料も人件費のほか旅費・宿泊費等の実費である。その他は市職員の業務として実施している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市町村内における文化財の調査についての補助メニューは知られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	担当する職員数を増やせば調査期間が短縮できるので、その成果を短期間のうちに市民に公開できる。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 統合	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	<p>昨年度同様の形態で実施する。文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は毎年指摘されており、それを反映して実施。特に保存保護の必要なものについては市指定文化財への道筋をつける。</p> <p>なお、令和元年度は業務内容が近い3314と統合を図り「文化財調査事業」とする。</p>	令和2年度計画	<p>令和元年度と同様の形態 (3314と統合) で実施する。</p> <p>文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は毎年指摘されており、それを反映して実施。このうち特に保存保護の必要なものについては市指定文化財への道筋をつける。</p>

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	まなべの館企画展開催事業	事業コード	3399
-----------	--------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等のさらなる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容	市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成を行なう。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	企画展の開催		回	目標値	4	3	3	3	1
				実績値	5	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	入館者数		人	目標値	5,000	5,000	7,000	5,000	5000
				実績値	9,754	7,565	14,206		
	計算根拠			達成率(%)	195.1	151.3	202.9		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.1			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	都市再生整備計画事業費補助金(国庫補助)		
	決算額	5,000	5,000	5,000					

# 令和元年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	入館者数は増加傾向にあり、住民ニーズはある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市の設管条例に明記されたまなべの館の事業であり、行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県立美術館、県立博物館ほか	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	各種展覧会事業	
		根拠	県全域をフィールドとした県施設の事業と一部重複することはあるが、各市町の住民ニーズを深く反映した事業を実施できるのは当該市町の博物館施設のみである。		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
事業名					
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	年間入館者数を維持し、展覧会開催事業を実施する上で最低限の予算である。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	現在、都市再生整備計画事業費補助金を活用しており、これ以外の補助メニューは見当たらない		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	多館と比較しても現状の予算では最大限の効果をあげている。全国レベルの展覧会を開催していけば、入館者数が高くなる。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	昨年同様の形態で実施。 平成29年度より国交省の都市再生整備計画事業費を財源として、5ヶ年間（～H33年度）の親子で楽しめるミュージアム事業として実施するもので、3回目。今回はヒサクニヒコ原画展、間部詮勝遺墨展、あみきやら×文化遺産ジオラマ展の3事業を開催する。	令和2年度計画	R1年度と同様の形態で実施。 平成29年度より国交省の都市再生整備計画事業費を財源として、5ヶ年間（～H33年度）の親子で楽しめるミュージアム事業として実施する。今回は「(仮)助田茂蔵作品展」、「(仮)鯖江藩立藩300年記念展」を開催する。

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施